

環境クリエイター TakasaGo!

 高砂熱学



東証プライム：1969

2022年8月10日

2023年3月期第1四半期 決算説明資料

高砂熱学工業株式会社

1. 2023年3月期第1四半期 連結決算概要 P.2
 2. 2023年3月期連結業績予想・株主還元 P.7
 3. ESG・SDGsへの取り組み
成長戦略の進捗
外部機関からの主な評価と受賞 P.9
- Appendix. 資料集 P.14

2023年3月期第1四半期 連結業績サマリー

大型の繰越工事の進捗により増収。売上総利益は増益。販管費増加に伴い営業利益以下は減益。

豊富な情報量のもと、受注は前年同期比+55.2%

(単位：百万円、%)	21/3期 1Q	22/3期 1Q	23/3期 1Q		
	実績	実績	実績	増減	増減率
売上高	53,511	55,575	72,314	+16,739	+30.1
売上総利益 (売上総利益率)	5,316 (9.9)	5,978 (10.8)	6,662 (9.2)	+683 (▲1.6)	+11.4 —
営業利益 (営業利益率)	▲528 (▲1.0)	▲206 (▲0.4)	▲677 (▲0.9)	▲470 (▲0.5)	— —
経常利益 (経常利益率)	▲575 (▲1.1)	333 (0.6)	▲157 (▲0.2)	▲491 (▲0.8)	— —
当期純利益 (当期純利益率)	▲548 (▲1.0)	▲107 (▲0.2)	▲481 (▲0.7)	▲374 (▲0.5)	— —
受注高	73,231	78,302	121,491	+43,188	+55.2
繰越高	240,981	254,176	318,064	+63,887	+25.1

◆売上高：

単体・国際において計画通り進捗

◆営業利益：

全社最適受注をはじめとした工事採算性向上への取り組み等を通じ売上総利益は増加したが、成長に向けた投資実行による販管費の増加を受け減益

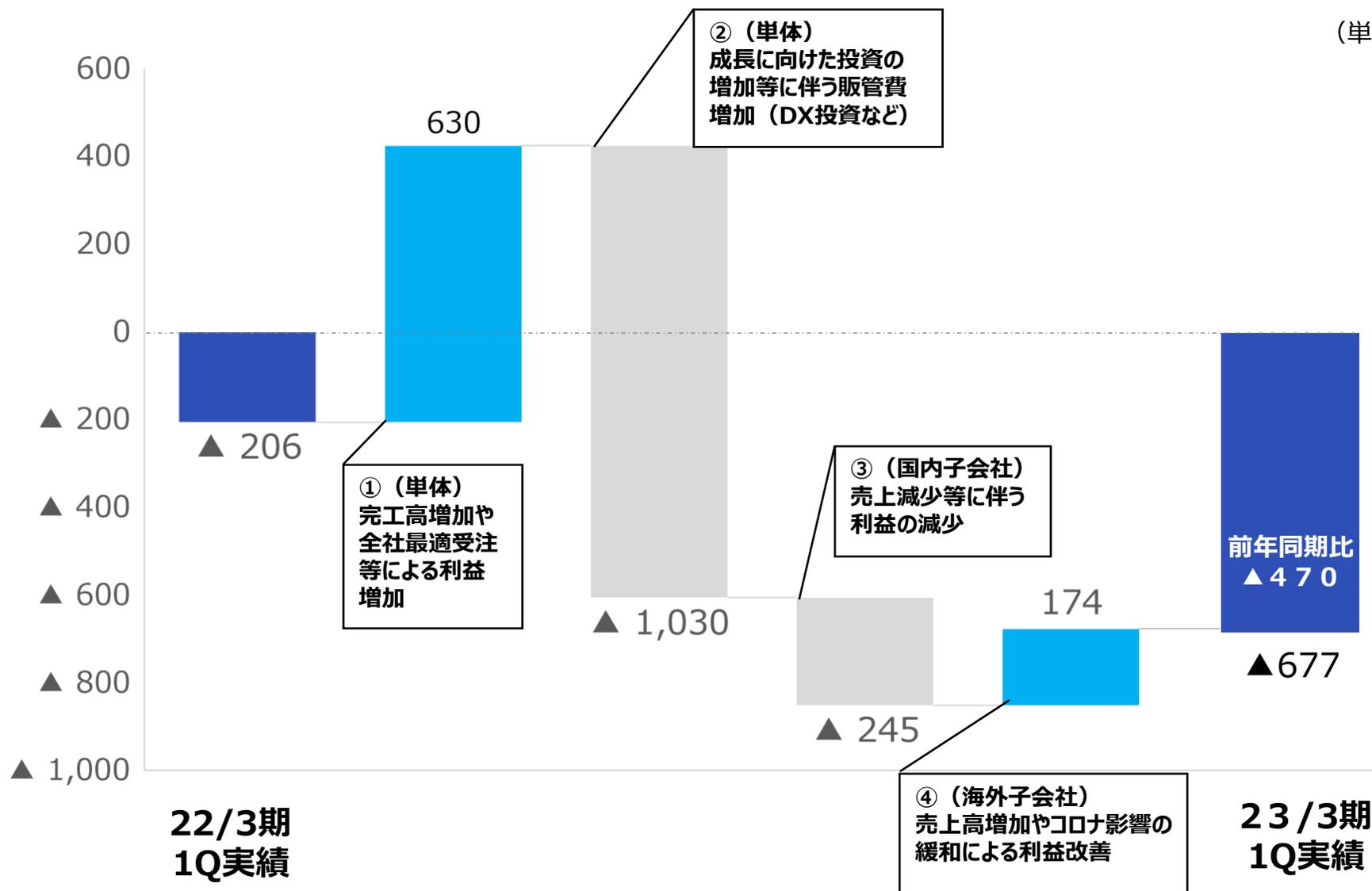
◆受注高：

豊富な情報量のもと、国内外の一般空調・大型工場系（産業）空調設備を中心に、完工量や配員計画を考慮した受注活動を展開

(2022.8.10上期受注計画 上方修正)

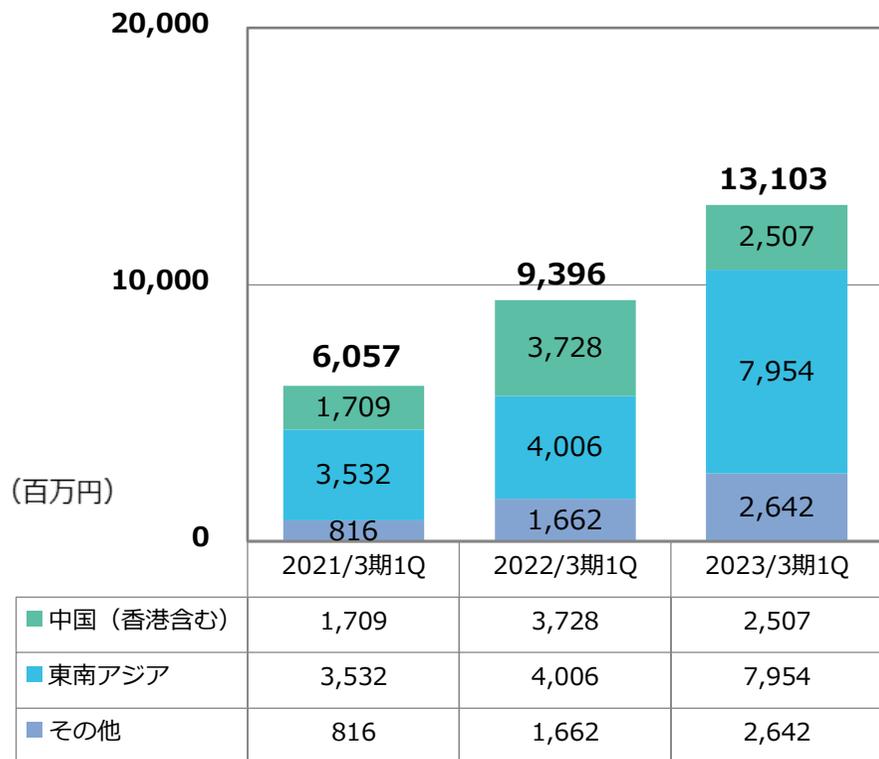
連結営業利益の主な増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）

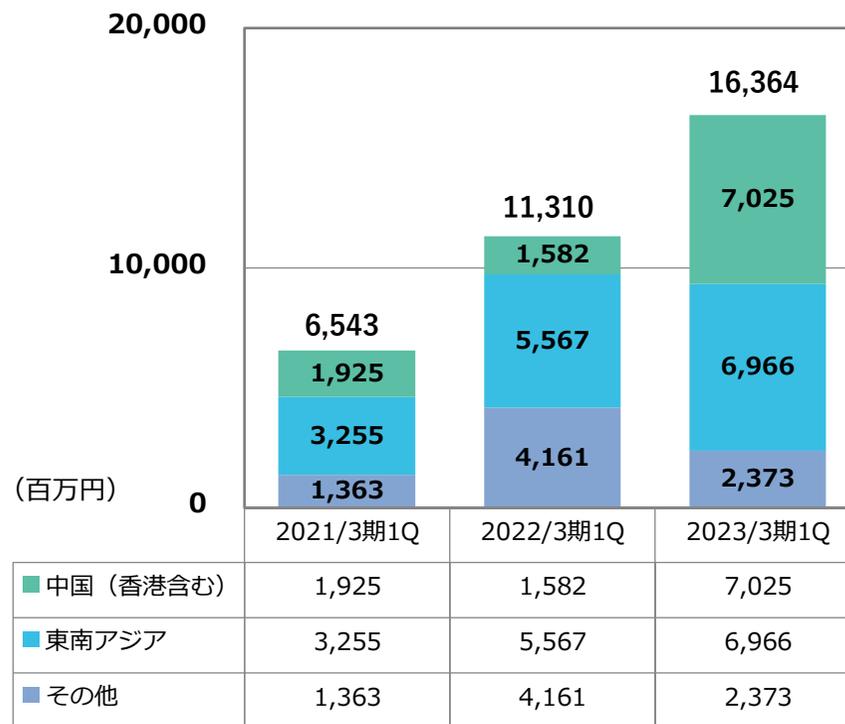


(補足資料) 国際事業の状況 – 地域別内訳

売上高推移



受注高推移 (注) 受注高、売上高のセグメント間取引については、調整前



22/3 概況

完工：コロナ影響は地域別に異なるが総じて回復途上であり、前年同期比+39.4%

受注：産業系を中心に豊富な情報量を有しており、前年同期比+44.6%

バランスシート (2022年3月期比)

(単位：百万円)

	2022年 3月末	2022年 6月末	増減
流動資産	228,208	221,305	▲6,903
現金・預金等	56,960	45,228	▲11,732
売上債権等 ※1	158,944	158,766	▲178
その他	12,304	17,310	+5,006
固定資産	28,864	28,581	▲283
投資その他資産	43,663	43,861	+198
総資産	300,736	293,748	▲6,988

※1 ⇒ 受取手形・完成工事未収入金および契約資産等、電子記録債権

※2 ⇒ 支払手形・工事未払金等、電子記録債務

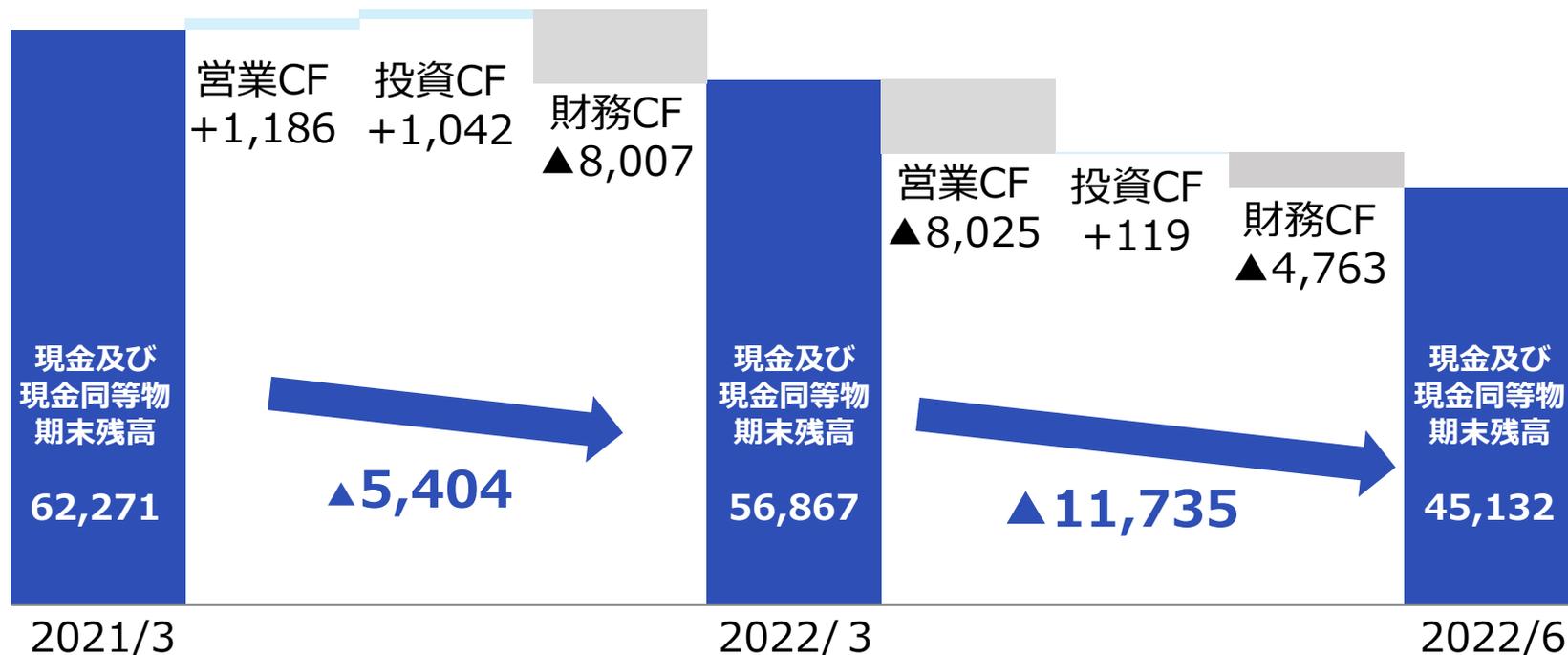
	2022年 3月末	2022年 6月末	増減
流動負債	134,342	128,333	▲6,009
仕入債務等 ※2	86,272	76,389	▲9,883
工事損失引当金	2,018	1,986	▲32
短期借入金	8,058	5,727	▲2,331
未成工事受入金	16,116	23,005	+6,889
その他	21,878	21,226	▲652
固定負債	29,496	29,530	+34
社債	25,000	25,000	0
その他	4,496	4,530	+34
純資産	136,897	135,885	▲1,012
負債・純資産	300,736	293,748	▲6,988
自己資本	132,897	131,509	▲1,388
自己資本比率	44.2%	44.8%	+0.6%

キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)

(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く



- ◆ 営業CF: 仕入れ債務の減少や法人税の支払等により▲8,025
- ◆ 財務CF: 短期借入金返済や配当金の支払等により▲4,763

2023年3月期 連結業績予想

- ◆ 大型の工場物件ならびに再開発案件の順調な進捗を見込むとともに、**施工体制強化と生産性向上に資する取り組みにより、前期比増収・売上総利益は増益の計画**
- ◆ 「人的資本」ならびに「環境事業」などの**成長戦略に基づく投資を一層強化**。営業利益以下の各段階利益は減益の計画
- ◆ 大型の工場物件を中心とした豊富な情報量のもと、**働き方改革に向け配員計画等を考慮した計画的受注を実施**
- ◆ 資機材不足に伴う納期遅延や価格動向、ならびに現場の工程遅延等の各リスクに対して、情報の早期収集と迅速な対応を図り、影響回避に努める

(単位：百万円、%)	22/3期		23/3期			
	1Q 実績	通期 実績	1Q 実績	通期 計画	前期比増減	増減率
売上高	55,575	302,746	72,314	311,000	+8,254	+2.7
売上総利益 (売上総利益率)	5,978 (10.8)	41,396 (13.7)	6,662 (9.2)	43,000 (13.8)	+1,604 (+0.1)	+3.9 —
営業利益 (営業利益率)	▲206 (▲0.4)	14,383 (4.8)	▲677 (▲0.9)	13,100 (4.2)	▲1,283 (▲0.6)	▲8.9 —
経常利益 (経常利益率)	333 (0.6)	15,639 (5.2)	▲157 (▲0.2)	14,500 (4.7)	▲1,139 (▲0.5)	▲7.3 —
当期純利益 (当期純利益率)	▲107 (▲0.2)	11,535 (3.8)	▲481 (▲0.7)	10,800 (3.5)	▲735 (▲0.3)	▲6.4 —
ROE	—	8.7	—	8.0以上	—	—
受注高	78,302	340,184	121,491	280,000	▲60,184	▲17.7

株主還元

● 配当

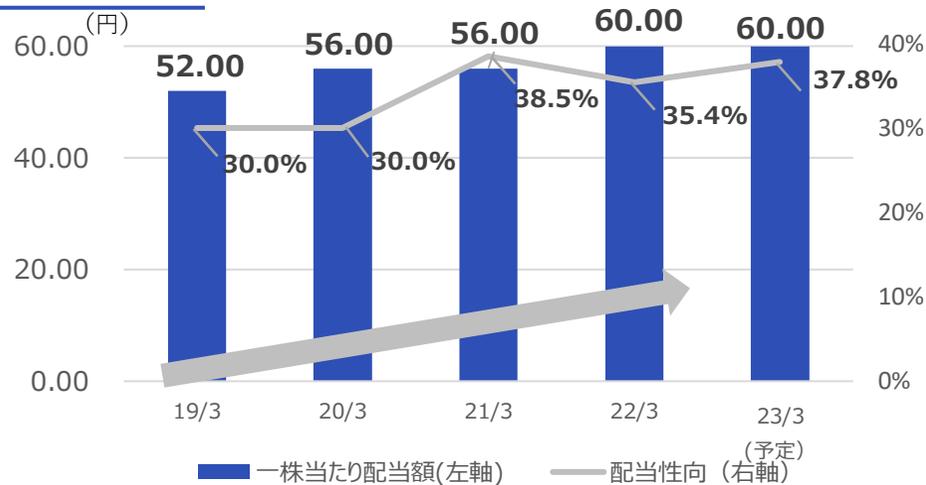
- ✓ 2022年度は、中間配当30円、
期末配当30円の通期60円予定

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 予定
1株当たり 年間配当金	56円	60円	60円
1株当たり 当期純利益	145.56円	169.38円	163.27円
配当性向	38.5%	35.4%	37.8%

<株主還元に関する基本方針>

配当による株主還元を基本とし、減配を行わず当社グループの利益成長に応じて配当を増やしていく方針。自己株式の取得は、中長期的に株主価値および企業価値を高める観点より、財務健全性と資本効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の実績推移



3. ESG・SDGs への取り組み 成長戦略の進捗 外部機関からの主な評価と受賞

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

ESG・SDGsへの取り組み (2021年度CO₂排出量報告)

スコープ・カテゴリ		該当する活動	排出量(t-CO ₂)			対前年比 %	
			2019 (基準)	2020	2021	下:対2019	
1	直接排出*	自社施設の燃料の消費、社有車の使用等に伴う直接排出量 (ガス・油・ガソリン)	2,754	2,037	2,176	+6.8	
2	エネルギー起源の間接排出	自社施設で購入した電気・熱の使用に伴う間接排出量	3,110	2,442	1,864	▲23.7	
スコープ1・2計			5,864	4,479	4,040	▲9.8 ▲31.1	
3	事業活動に関連する他社の間接排出量		4,963,127	4,000,944	4,648,164	+11.4 ▲6.3	
力 テ ゴ リ	1	購入した製品サービス	購入製品の資源採取・製造に伴う排出量 ダクト・配管・架台、空調機器	173,731	104,307	119,213	+12.8
	2	資本財	固定資産に関する製造・建設に伴う排出量	39,557	13,190	7,336	▲44.4
	3	エネルギー関連活動	自社使用の電気製造(鋳物)に伴う排出量	459	606	715	▲17.2
	4	輸送 (上流)	製品の施工現場まで輸送に伴う排出量	3,678	5,269	5,662	+7.6
	5	事業から出る廃棄物	自社の一般廃棄物・施工現場から排出された 廃棄物の輸送・処分に伴う排出量	9,614	7,168	5,676	▲20.8
	6	従業員の出張	社員の出張に使用する交通機関の燃料・電力 の消費に伴う排出量	2,474	822	919	+11.8
	7	従業員の通勤	社員の通勤に使用する交通機関の電力等の消費 に伴う排出量	547	632	609	▲3.6
	11	販売した製品の使用	納入設備の運用に伴う排出量 (運用期間を1 5年と設定)	4,650,967	3,835,589	4,499,860	+12.4
12	販売した製品の廃棄	納入設備やダクトなどの廃棄に伴う排出量	82,100	33,359	8,089	▲75.8%	

⇒2021年度CO₂排出量は、基準年とする2019年度比でスコープ1・2、3において減少

「人的資本」に関する取り組み進捗について

環境クリエイターとして未来に向けて更なる発展を続けるために、採用強化、多様性の確保、人財育成、働く社員の労働環境整備等を通じ、人的資本の強化へ

採用強化ならびに多様性の確保

- ・ 新卒採用目標数
22年度入社 98名 ⇒ 23年度採用目標 120名
- ・ 中途採用・高度専門技能人財（DX等）の登用

	2021.4	2022.4	2030 年頃
中途採用管理職比率	8.9%	9.5%	現状より増加
中途採用者比率	15.8%	16.5%	現状より増加

- ・ 女性管理職・管理職候補、外国籍社員比率増加

	2021.4	2022.4	2030 年頃
女性管理職候補層比率	5.5%	6.3%	30%
女性管理職比率	1.5%	1.9%	10%
外国籍社員比率	1.5%	1.7%	現状より増加

人財育成の強化

- ・ スキルマトリックス開示・サクセッションプランに基づく経営人財の育成
- ・ タカサゴ・アカデミーによる、目的別・階層別の実践的・多角的な教育プログラムの拡充
- ・ DX・BIM化等、成長戦略の推進に向けた研修実施、教育機関への社員派遣
- ・ 経営リテラシー等の各種 e-ラーニングを実施
- ・ 協力会社社員に対しても育成支援、経営課題改善に貢献（T-Base®など）

役職員が能力を最大限に発揮出来るための労働環境整備

- ・ 定期的な（毎月）エンゲージメントサーベイを実施（2022年1月～）
- ・ エンゲージメント向上に資するためのパーパス明確化
- ・ 健康経営・Well-being推進に向けた施策の実施（健康経営銘柄2022・健康経営優良法人2022認定）
- ・ 柔軟な働き方、多様なキャリアパスを実現するための新たな人事制度の策定・見直し検討

成長戦略の取り組み進捗について

| 施工プロセスの変革 T-Base®

2022年5月 中核を担う本部拠点の稼働

- ・標準化製品開発、オフサイト生産、多様な人財の活躍を促す場として本格稼働
- ・廃材削減、再エネ利用、様々な輸送手段により「調達・生産・供給」のプロセスから環境貢献へ

2022年6月 IRDay2022を開催

- ・T-Base®施設見学と各機能・展望を紹介
(証券アナリスト・機関投資家・マスコミ関連より42名のご参加)



| カーボンニュートラル事業の推進

2022年4月～ 石狩市厚田地区 水素利用のマイクログリッドシステム運営事業開始 (当社水素事業の社会実装化1号プロジェクト)

2022年5月 川崎・川崎港カーボンニュートラル形成推進協議会 会員へ

2022年6月 SENBOKU (大阪府堺市) スマートシティコンソーシアム参画



| DX・BIMの推進

2022年4月 新基幹システムの稼働開始

⇒全店共通業務集約化ならびに効率化に向けた基盤を構築

2022年7月 技術系社員を対象にRevit・BIM360教育開始



2023年3月期第1四半期 外部機関からの主な評価と受賞

評価

- **MSCI ESGレーティング**
「AA」⇒「AA」継続（2022年6月更新）
- **FTSE ESGレーティングスコア**
「2.0」⇒「2.2」（2022年6月更新）
（FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄）
- **経済産業省「DX認定事業者」に認定**（2022年4月）



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

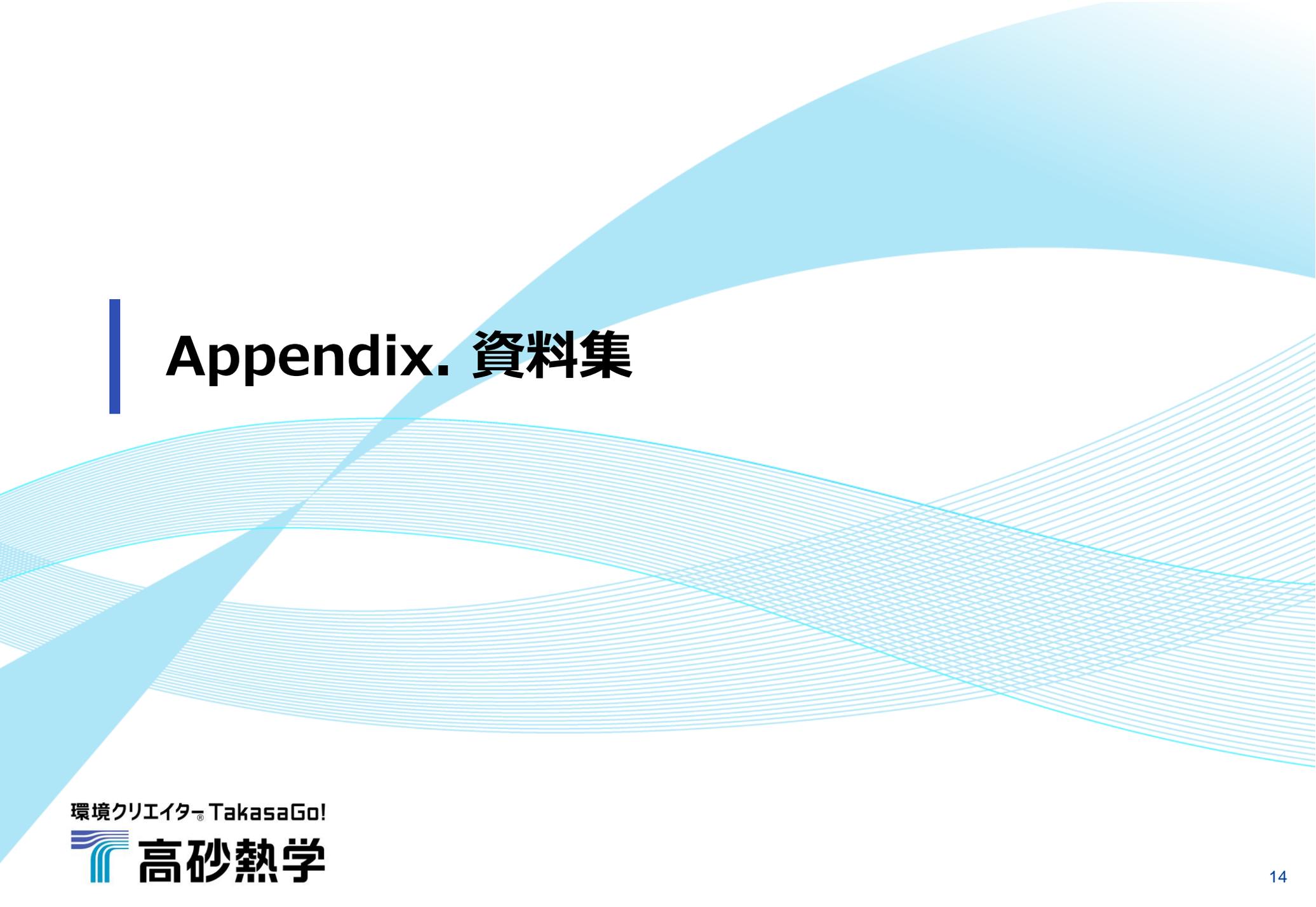


DX認定

受賞

- **公益社団法人 空気調和・衛生工学会 第36回振興賞技術振興賞**
「ミュージアムタワー京橋における開放型超高層ビルの実現と検証」
- **一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞**
「～環境負荷低減と知的生産性向上を両立したサステイナブル研究施設～
高砂熱学イノベーションセンター」
- **一般社団法人 電気設備学会 第33回電気設備学会賞部門賞**
「高砂熱学イノベーションセンターの『ZEB』を目指した電気設備」





Appendix. 資料集

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	
		実績	実績	実績	増減率
受注高	単体	60,984	57,791	94,201	+63.0
	国内子会社	8,292	10,260	9,621	▲6.2
	海外子会社	6,543	11,310	16,364	+44.7
	調整額	▲2,588	▲1,059	1,304	—
	合計	73,231	78,302	121,491	+55.2
売上高	単体	41,572	39,314	52,844	+34.4
	国内子会社	7,813	9,018	8,324	▲7.7
	海外子会社	6,057	9,396	13,103	+39.4
	調整額	▲1,931	▲2,154	▲1,958	—
	合計	53,511	55,575	72,314	+30.1
連単倍率（売上高）		1.29倍	1.41倍	1.37倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2021/3期 1Q		2022/3期 1Q		2023/3期 1Q		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減率
受注高	設備工事	一般設備	46,852	64.0	46,218	59.0	56,060	46.1	+21.3
		産業設備	24,705	33.7	30,611	39.1	63,839	52.6	+108.5
	設備機器の製造・販売		1,607	2.2	1,416	1.8	1,536	1.3	+8.5
	その他		66	0.1	56	0.1	54	0.0	▲2.9
	合計		73,231	100.0	78,302	100.0	121,491	100.0	+55.2
	（うち海外）		(5,547)	(7.6)	(12,556)	(16.0)	(20,022)	(16.5)	(+59.5)
	（うち保守・メンテナンス）		(6,235)	(8.5)	(7,389)	(9.4)	(6,567)	(5.4)	(▲11.1)
売上高	設備工事	一般設備	30,615	57.2	29,988	54.0	31,749	43.9	+5.9
		産業設備	21,878	40.9	24,220	43.5	39,240	54.3	+62.0
	設備機器の製造・販売		950	1.8	1,309	2.4	1,269	1.7	▲3.0
	その他		66	0.1	56	0.1	54	0.1	▲2.9
	合計		53,511	100.0	55,575	100.0	72,314	100.0	+30.1
	（うち海外）		(6,034)	(11.3)	(9,410)	(16.9)	(13,109)	(18.1)	(+39.3)
	（うち保守・メンテナンス）		(4,799)	(9.0)	(5,435)	(9.8)	(5,421)	(7.5)	(▲0.2)
繰越高	設備工事	一般設備	159,072	66.0	161,956	63.7	169,377	53.2	+4.6
		産業設備	79,783	33.1	90,692	35.7	145,975	45.9	+61.0
	設備機器の製造・販売		2,124	0.9	1,528	0.6	2,711	0.9	+77.5
	合計		240,981	100.0	254,176	100.0	318,064	100.0	+25.1
	（うち海外）		(27,585)	(11.4)	(32,598)	(12.8)	(52,463)	(16.5)	(+60.9)
	（うち保守・メンテナンス）		(3,202)	(1.3)	(3,353)	(1.3)	(3,055)	(1.0)	(▲8.9)

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

	受注					売上					
	2022/3期		2023/3期		増減率	2022/3期		2023/3期		増減率	
	四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計		
1Q	設備工事業	768	768	1,199	1,199	+56.1	542	542	709	709	+31.0
	一般設備	462	462	560	560	+21.3	299	299	317	317	+5.9
	産業設備	306	306	638	638	+108.5	242	242	392	392	+62.0
	設備機器の製造・販売事業	14	14	15	15	+8.5	13	13	12	12	▲3.0
	その他	0	0	0	0	▲2.9	0	0	0	0	▲2.9
	合計	783	783	1,214	1,214	+55.2	555	555	723	723	+30.1
	(うち海外)	(125)	(125)	(200)	(200)	(+59.5)	(94)	(94)	(131)	(131)	(+39.3)
(うち保守・メンテナンス)	(73)	(73)	(65)	(65)	(▲11.1)	(54)	(54)	(54)	(54)	(▲0.2)	
2Q	設備工事業	739	1,507				653	1,195			
	一般設備	433	895				368	668			
	産業設備	305	611				284	526			
	設備機器の製造・販売事業	16	30				13	26			
	その他	0	0				0	0			
	合計	756	1,539				667	1,222			
	(うち海外)	(103)	(229)				(101)	(195)			
(うち保守・メンテナンス)	(56)	(130)				(63)	(118)				
3Q	設備工事業	791	2,299				762	1,957			
	一般設備	307	1,203				438	1,106			
	産業設備	484	1,096				323	850			
	設備機器の製造・販売事業	16	47				16	43			
	その他	0	0				0	0			
	合計	808	2,347				778	2,001			
	(うち海外)	(159)	(388)				(101)	(297)			
(うち保守・メンテナンス)	(59)	(190)				(66)	(184)				
4Q	設備工事業	1,031	3,331				1,009	2,967			
	一般設備	392	1,595				495	1,602			
	産業設備	639	1,735				514	1,365			
	設備機器の製造・販売事業	22	69				16	59			
	その他	0	0				0	0			
	合計	1,054	3,401				1,025	3,027			
	(うち海外)	(278)	(667)				(209)	(506)			
(うち保守・メンテナンス)	(69)	(259)				(70)	(254)				

業績サマリー（個別）

（単位：百万円、％）

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q		
	実績	実績	実績	増減	増減率
売上高	41,572	39,314	52,844	13,530	+34.4
売上総利益 （売上総利益率）	3,727 (9.0)	4,105 (10.4)	4,735 (9.0)	+629 (▲1.4)	+15.3 —
営業利益 （営業利益率）	▲156 (▲0.4)	28 (0.1)	▲372 (▲0.7)	▲400 (▲0.8)	— —
経常利益 （経常利益率）	856 (2.1)	1,766 (4.5)	649 (1.2)	▲1,117 (▲3.3)	▲63.2 —
当期純利益 （当期純利益率）	717 (1.7)	1,257 (3.2)	367 (0.7)	▲889 (▲2.5)	▲70.8 —

受注高	60,984	57,791	94,201	36,410	+63.0
繰越高	211,974	219,642	263,817	44,175	+20.1

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2021/3期			2022/3期			2023/3期		
		1Q	通期	通期 構成比	1Q	通期	通期 構成比	1Q	前期 増減率	1Q 構成比
合 計		609	2,224	100.0%	577	2,419	100.0%	942	+63.0	100.0%
一般設備・ 産業設備	一般設備	418	1,319	59.3%	396	1,347	55.7%	500	+26.2	53.1%
	産業設備	191	905	40.7%	181	1,071	44.3%	441	+143.6	46.9%
新築・ リニューアル	新築	247	971	43.7%	233	982	40.6%	494	+112.0	52.5%
	リニューアル	362	1,253	56.3%	344	1,437	59.4%	447	+29.9	47.5%

工事種類別完成工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2021/3期			2022/3期			2023/3期		
		1Q	通期	通期 構成比	1Q	通期	通期 構成比	1Q	前期 増減率	1Q 構成比
合 計		415	2,117	100.0%	393	2,206	100.0%	528	+34.4	100.0%
一般設備・ 産業設備	一般設備	257	1,276	60.3%	244	1,346	61.0%	267	+9.0	50.5%
	産業設備	158	841	39.7%	148	859	39.0%	261	+76.3	49.5%
新築・ リニューアル	新築	196	847	40.0%	162	943	42.7%	241	+48.7	45.6%
	リニューアル	219	1,270	60.0%	231	1,263	57.3%	287	+24.2	54.4%

（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

財務・IR統括部 コーポレート・コミュニケーション室 中村、平木

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス :

isao_nakamura@tte-net.com; terumasa_hiraki@tte-net.com